

ISSF(国際射撃連盟)からのお知らせ

ライフル競技用の服装に関する変更提案について

ISSF は最近、すべての加盟射撃連盟や関係企業に対し、ライフル競技用の服装(ジャケット、ズボン、シューズ)に関する新しい検査基準(厚さ・硬さなど)案を伝えました。

この変更はまだ最終決定ではなく、今後さらに検討されます。ただし、ISSF の技術委員会・選手委員会・専門家たちからの強い提案であり、将来この方向で進む可能性が高いです。これらの変更は、ライフル競技を今後も安全かつ公正に続けていくために必要だと考えられています。

■ 既存の装備もそのまま使えます

- ・現在の服装が新しい基準を満たしていれば、変更の必要はありません。
- ・もし新しい基準に合わない場合は、柔らかくするなどの調整が必要になります。
- ・調整の方法や基準については、最新の案内文に詳しく記載されます。

また、最終的な技術的な内容や正式なルールの文章は、今後さらに検討され、2026 年版の ISSF ルールブックに反映される予定です。

■ 今後のスケジュール

- ・この提案は、2025 年末までに ISSF 内でさらに話し合われ、最終決定される予定です。
- ・ルールが決まった場合は、2026 年 1 月 1 日から正式に施行されます。
- ・さらに、2025 年にカイロで行われる世界選手権(WCH)期間中に説明会(フォーラム)開催が検討されています。選手やコーチが直接説明を受けられる機会になります。

ISSF は、今後もみなさんに最新情報をわかりやすくお知らせしていきます。